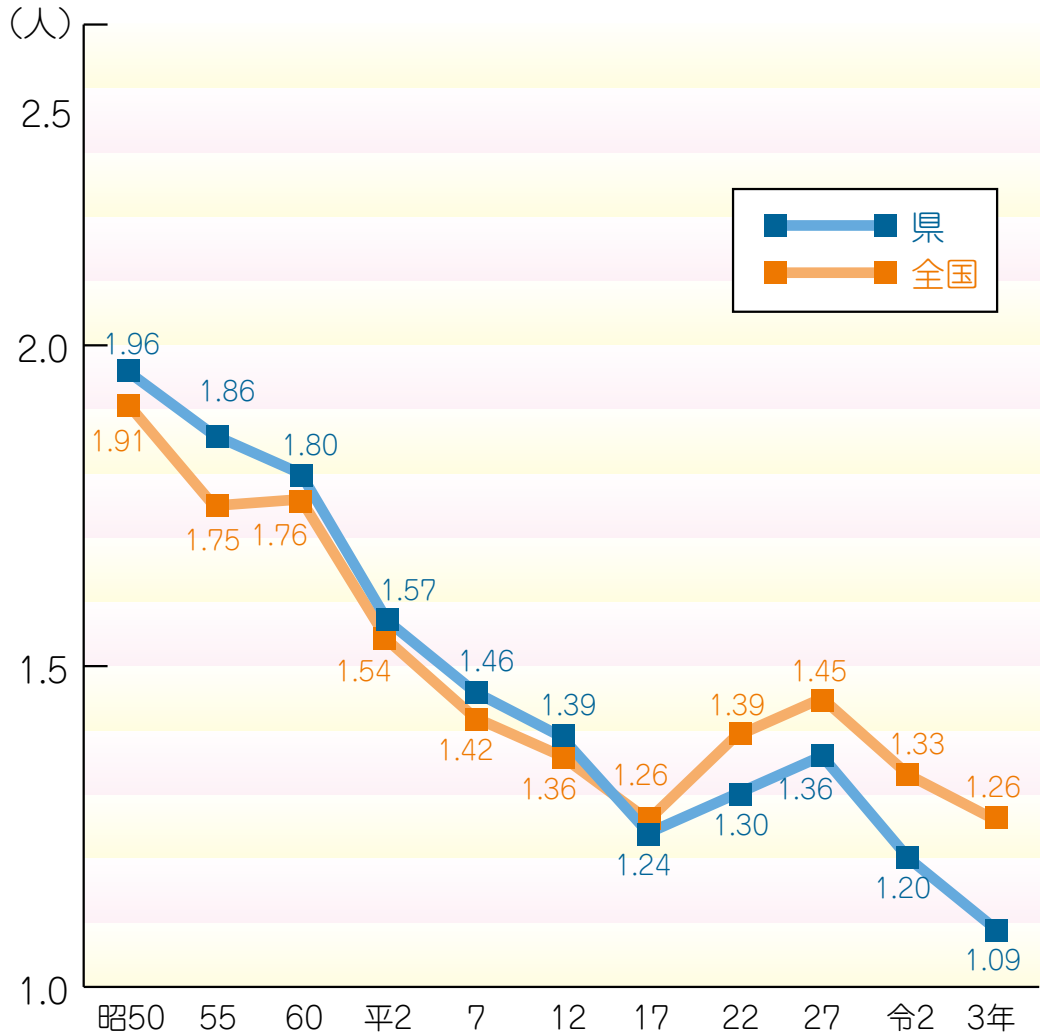


合計特殊出生率



資料：厚生労働省「令和4年人口動態調査」

※合計特殊出生率とは、一人の女性が一生涯に平均何人の子どもを生むかの数値で、人口統計学上の妊娠可能な年齢（15歳～49歳）の全女性を対象に、母の各年齢別出生率を合計したものをいう。